

授 業 期 間	前期	授 業 対 象	P学部 [必修] 木2 / 指定なし 木2		
科 目 名	北里の世界 (北里大学で学ぶことの意味と意義)				
科目責任者	新村 拓			単 位 数	2単位
担 当 者	新村 拓 / 森 孝之 / ほか				
教 育 目 標	生命科学・医学の加速度的な発展を目の当たりにして、私たちはその基礎研究や応用を通して社会貢献に少しでも関わりたいという希望や夢をふくらませている。しかしながら、科学技術は人間による制御を越えて自己増殖する可能性をはらんでおり、大きな倫理的な問題も抱えている。予防医学の面で多くの人の命を救った北里柴三郎を学祖とする生命科学系総合大学に学ぶ私たちに求められているものは、生命科学・医学の進展と制御、その両者の調和を図りながら「生物全体の幸せ」を考えていくことである。細菌学・免疫学の基礎を築いた柴三郎の事績を学び、そこに込められた思いと、その理念が結実した本学の現況を理解するとともに、その理念に根ざした最前線のサイエンスを習得しようとする意欲を盛り上げ、「生物全体の幸せ」への道筋に思いを馳せたい。				
教 育 内 容	科学者としての北里柴三郎とその弟子たち、北里研究所および北里大学の歩みをたどるとともに、生命科学・医学の最前線を知り、科学的なものの見方、考え方、学ぶことの面白さを理解する。 (キーワード) 生命科学 / 北里柴三郎 / 細菌学 / 免疫学 / 感染制御 / チーム医療 / 農医連携				
教 育 方 法 学 習	講師によるオムニバス形式の講義となる。プリント、パソコンによるプレゼンテーション、ビデオの上映などにより情報を発信し、同時に問題意識を講師と学生が共有できるように討論の場を設ける。授業前および授業後に授業内容に関連した文献を読んでおくこと。北里柴三郎記念室を見学すること。				
回	担 当 者	項 目	授 業 内 容		
1	新村 拓 清水明美	4月14日	ガイダンス / 生命科学と倫理 (副学長, 一般教育部非常勤講師)		
2	新村 拓 小島佐恵子	4月21日	大学で学ぶことの意味 (副学長, 一般教育部専任講師)		
3	柴 忠義	4月28日	北里大学の理念とその展開 (学長)		
4	森 孝之	5月12日	北里柴三郎の「医道論」と公衆衛生行政 (北里柴三郎記念室次長)		
5	中山哲夫	5月19日	北里柴三郎; 免疫学・ワクチン学のはじまり (北里生命科学研究所長)		
6	井上松久	5月26日	感染症の予防と制御 (感染制御研究機構長)		
7	陽 捷行	6月 2日	農と環境と医療をめぐる現代の課題 (副学長)		
8	緒方武比古	6月 9日	海と海洋生物一人の生活・健康との関わり (海洋生命科学部長)		
9	相澤好治	6月16日	安全な医療をめざして—チーム医療教育プログラム (副学長)		
10	花輪寿彦	6月23日	漢方医学の現状と将来 (東洋医学総合研究所長)		
11	竹内正弘	6月30日	薬の開発と臨床試験—グローバル臨床研究拠点としての北里大学 (臨床薬理研究所長)		
12	北里一郎	7月 7日	北里柴三郎とその時代 (明治製菓株式会社最高顧問)		
13	土本寛二	7月14日	福沢諭吉と北里柴三郎 (学校法人北里研究所常任理事)		
14	岡本拓司	7月21日	科学史の中の北里柴三郎 (東京大学大学院総合文化研究科准教授)		
15	森 孝之	7月28日	北里柴三郎の研究と精神を受け継いだ弟子たち (北里柴三郎記念室次長)		
到 達 目 標	学ぶことの意味や学び方を理解し、これから何をめざして進むべきか、自己探求のきっかけをつかむことができる。				
成 績 評 価 の 方 法 と 基 準	試験方法: なし 実施時期: 毎回の小レポート(講義の要約と感想を分けて書く)50点。小レポートの締め切りは授業翌日の17時(一般教育部事務室教務係に提出)。出席状況40点。白金キャンパス本部棟1階にある北里柴三郎記念室の見学10点。記念室は月曜から木曜の10時より15時まで開館。5月中旬より7月末までの間に見学し、備え付けの「北里の世界」出席名簿に自筆でサインすること。				
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ	積極的に取り組めば学生生活に自信と誇りが生まれる。自分の中の秘められた可能性を見つけてほしい。				
教科書・参考書	書 名	著 者 名	出 版 社 名	定 価(円)	
参考書	北里柴三郎	長木大三	慶応義塾大学出版会		
参考書	増補 北里柴三郎とその一門	長木大三	慶応義塾大学出版会		
参考書	ドンネルの男 北里柴三郎	山崎光夫	東洋経済新報社		
参考書	北里柴三郎	福田真人	ミネルヴァ書房		